

第 89 回 モーツァルト・サロン コンサートシリーズ
「根津理恵子ピアノリサイタル」特集
2024 年 10 月 13 日



アンコール ショパン:タランテラ

ご挨拶

秋とは名ばかりで夏日になった 10 月 13 日(日)14:00 より、「根津理恵子ピアノリサイタル」が満員のお客様を迎えて開かれました。幕開けは「第 10 番 ロ短調」。あの美しい音で弾き終わると、ご挨拶と曲の説明をされました。

「今日は季節柄沢山のイベントがある中、このコンサートを選んで頂き、ありがとうございます。今日はショパンのワルツ全曲ということですが、ショパンの作品は作品番号と書かれた順番が異なり、書かれた順に並べたら、若い時から晩年まで散らばっているので、生涯を追いながら全曲を弾いてみたいと思いました。ショパンが曲を最初に書いたのは 7 歳の時のポロネーズ。ワルツを初めて書いたのは 10 代後半とされています。この頃は、学生生活が充実していました。次に演奏する 4 曲は、初恋の女性を想って書かれた幸せな(切なさというより)温かい気持ちを表現した曲で、勉強のためにも書かれました。しばらく、陽気なワルツが続きます」。

「第 13 番 変ニ長調」、「第 15 番 ホ長調」、「第 16 番 変イ長調」、「第 17 番 変ホ長調」の演奏後には、次の様なお話がありました。

「この頃のポーランドは、隣国ロシアからの侵攻を受け、緊張状態にありました。独立運動が高まって、ショパンは「自分も戦いたい」と思いましたが、芸術家は国にとって貴重な存在であり、友人達から「他の国に逃げなさい」と言われ、ウィーンへの亡命を泣く泣く決心しました。少し前にウィーンで演奏会を開き、大成功したので選んだのですが、オーストリアもポーランドにとっては敵国であり、前回のような歓迎を受けることはできませんでした。その上、逃げている最中にポーランドが負けたという知らせを受け、怒り、悲しみというものを作品に託すようになり、その頃に書かれたのが「革命のエチュード」や「スケルツォ 1 番」です。そういった中で、ワルツも暗い、ちょっと苦しいというような感情の表れた、短調と言われる作品が書かれています。

そして、「14 番 ホ短調」、「3 番 イ短調 華麗なる円舞曲」が演奏され、その後も説明が続きます。

「ウィーンから今度はパリを目指します。自分が受け入れてもらえない国で流れているワルツを嫌っていつてしまいました。パリに渡り、お客様と近いサロンで音楽を楽しむ文化の中に身を置くようになり、そこでショパンは大歓迎を受け、次第に華やかなワルツやノクターンのような甘く切ない音楽を書くようになりました。ウィーン風ワルツも沢山書くようになってきます。ショパンが書くと芸術性の高いワルツになり、「華麗なる」という名前の付いた作品は、ウィーン風ではありますが、ショパンらしい繊細さ、上品さを兼ね備えた作品になります」。

「第 11 番 変ト長調」、「第 1 番 変ホ長調 華麗なる大円舞曲」で華やかに前半が終わりました。

後半の 1 曲目は、「第 2 番 変イ長調 華麗なる円舞曲」。1 番に匹敵する華麗なこの曲で会場を魅了して、次の曲の説明に移ります。

「次に演奏する曲は、自分の教え子だったマリアにドイツで再会し、楽しい時を過ごした後でお別れの時が来て、少しの別れ、また会いましょうという意味を込めて書かれた別れのワルツです。

そして、「第 9 番 変イ長調 別れ」が甘く切なく演奏された後で次の曲の説明がありました。

「4 番は猫のワルツと呼ばれています。ショパンが付けた名前ではないのですが、猫の鳴き声やひっかいているような音型があります。それから 5 番の大円舞曲、これはショパンのワルツの中でも一番長くて華やかで、技巧的にもピークが来ているところ」。

「第 4 番 変イ長調 華麗なる円舞曲」の演奏後には、その素晴らしさに思わずお客様から拍手が湧き起り、会釈をした後で「第 5 番 変イ長調 大円舞曲」が演奏されました。その後には次の曲の解説がありました。

「後半の方が内容が濃くなってきています。次はソステヌートという曲で、本によってはワルツと書いておらず、18 番と書いてあります。ソステヌートというのはイタリア語で音を保つという意味ですが、じっくり歌うということかと思えます。それからまた暗い短調の曲が来ます。この 2 曲も他の短調の曲と同じようにメッセージ性の強い曲です」。

「第 18 番 変ホ長調 ソステヌート」、「第 12 番 変イ短調」の演奏後に再びこれらの曲の説明が加えられました。

「ショパンがこの作品たちを書いている頃、ほとんど思っていた結核が進行して体調の悪い日が多くなります。それにしただって、ワルツも華やかなものから一気にシンプルなものになってきています。若い頃からこういうシンプルな作りで書いていたので、懐かしい、昔のポーランド時代の自分を思い出して書いているのかなと感じます。そして、小犬のワルツですが、小さい子が弾くイメージなので、若い頃の作品のような感じですが、実際書いたのは晩年でした。ショパンは小さい頃、人を笑わせることがとっても好きで、自分で喜劇を書いてそれを演じていたという俳優のような一面もありました。この小犬のワルツはそのチャーミングな一面が見られ、可愛らしいという表現が合います。その後には続く 2 曲は内容が非常に充実していて、この 3 曲は、同時期に作品番号の順に書かれています。中でも 2 曲目は、最高峰の歌うワルツになっていて、最後の曲はそれから解き放たれたような穏やかなワルツになっています。

傑作と言われる「第 6 番 変ニ長調小犬」、「第 7 番 嬰ハ短調」、「第 8 番 変イ長調」の 3 曲が其々の特色を生かして演奏されました。

「いよいよ最後の曲になりました。イ短調のワルツです」と、言葉少なに語り、最後のワルツを感動的に弾き終わりました。ショパンは決して幸せとは言えない人生の中で、後世の私達にこのような素晴らしい曲の数々を遺してくれました。それらを終始美しい音で抒情的に、時には躍動感あふれる演奏で、的確に伝えてくれた根津さんには、沢山の拍手が贈られました。

「ありがとうございます。ワルツという軽やかな曲を用いて一人の偉大な作曲家の人生を追うというのは、楽しかったのですが、やはりずっしりと重いものを感じました。このサロンコンサートで弾かせて頂いて、9 回目になりますが、こいつも支えてくださったオーナーの伊藤様に感謝申し上げます。この場でこんなに近くで温かく聴いてくださる皆様にお会いできなくなるのはとても寂しいですが、ここでの思い出というのは今回のワルツを以ってますます強いものになったなあと思います。最後ももう 1 曲違う踊りの曲ですが、ショパンのタランテラを演奏します。賑やかなお祭りのような曲です」。

根津さん独特の歯切れよく、小気味よいリズム感で弾き始めると、身体が自然に動いてきます。このプログラムで CD が作られると嬉しいです！当サロンの根津さんの演奏は最後になりますが、これからも応援を続けたいと思います。ありがとうございました。

アンケート集計結果

根津理恵子さんへ

- ♪ Op.順だと年代が異なるので、時系列に並べると何かが見えるのではという企画に感動しました。初期に作られたワルツと年を追うごとに作られるワルツの印象が異なり、非常に勉強になりました。特に感情表現される個所は必聴物でした。メッセージ性のある素敵なフレーズに涙なしでは聴けません。Op.34-3 の終演で、本来は次を弾くので拍手はないのですが、あのブーニン事件(シヨパンコンクールでの)と同じように感動した聴衆は拍手したので、理恵子さんも驚いた様です。次はノクターン or バラード&スケルツォ or エチュード等、オールシヨパンを期待します。お疲れ様でした。
- ♪ シヨパンのワルツ全曲演奏一感激致しました！オーバーなアクションを誇示することなく、それでいてメリハリの利いた、品のある演奏だったと思います。OP.18 の「華麗なる大円舞曲」は私自身、古希記念の演奏会で、マリimbaとピアノのデュオで演奏した懐かしい思い出をよみがえらせていただきました。これからも、ますます意欲的なプログラムによるリサイタルをお聴かせくださいますよう。
- ♪ 素晴らしい演奏をありがとうございました。モーツァルト・サロンでのコンサートは最後とのこと、これまでの同サロンでの演奏の数を思い出しながら聴かせていただきました。たくさんの感動をありがとうございました。これからも応援しています。
- ♪ とてもすてきな演奏をありがとうございました。年代ごとにまとめたワルツはじめて聴きましたが、とても良かったです。今後のご活躍を楽しみにしています。
- ♪ 理恵子先生最高でした！！とても素敵な時間をすごさせて頂いてありがとうございます。この演奏を思い出してしばらく幸せな時間が続きます。ぜひこの曲順で理恵子先生の CD があるといいのではと思います。また、ぜひ生で演奏をお聴かせいただきたいです。
- ♪ 本当に素晴らしい演奏をありがとうございました！！お話もあって大変だったかと思います。素晴らしいご企画ありがとうございました！！言葉にならずすみません！！
- ♪ すばらしいリサイタルでした。
- ♪ 素晴らしい演奏を聴かせてくださり、ありがとうございました。解説もとてもわかりやすく、興味深かったです。息子が“弾いてみたい”と思う曲にたくさん出会えたようです。
- ♪ 今日は美しいワルツをたくさんひいていただいてありがとうございました！音色も優しくて、きいていてとても心地よかったです。



ワルツ第 10 番
憂いのある曲から、いよいよ始まりました



1 曲目演奏後にご挨拶と曲の説明
恋の切なさを感じる 10 代の後半の作品



ワルツ第 13 番
ここからの 4 曲は、初恋、
それからお勉強のために書かれた曲です



ワルツ第 15 番
この陽気なワルツは、恋の楽しさを
表現しているのでしょうか



ワルツ第 14 番
祖国がロシアから侵攻され
暗く苦しい気持ちが表れています



ワルツ第 1 番
最も有名な作品で前半が華麗に終了しました

- ♪ 今日こんなに沢山のワルツを贅沢に聴かせて頂き、ありがとうございました！！どれもうっとりしてしまいました♪理恵子先生の弾くショパンが大好きです！！今日は本当にありがとうございました！(^)!
- ♪ ワルツ全曲演奏という企画がとてもよかった。ショパンの生涯とワルツとの関連という観点から音楽をきくことがなかったので、とても参考になりました。このサロンで演奏をきく機会がなくなりましたが、今後も円熟した演奏をきかせて下さい。
- ♪ とても良かったです。また機会があればコンサートに行きたいです。
- ♪ 本当に素晴らしかったです。ショパンの人生をたどるすてきな音楽でした。豊かな時間が過ごせて良かったです。また、楽しみにしています。
- ♪ いつも理恵子先生の繊細かつダイナミックで叙情豊かな音楽に感動しきりでした。ショパンの生涯とワルツ作曲の関係性について、丁寧に楽しく解説いただき大変ぜいたくなコンサートをありがとうございました。アンコールのタランテラも涙がでるほど素晴らしかったです！
- ♪ 理恵子さんのショパンを堪能いたしました！！素晴らしかったです。これからの活躍楽しみにしています。モーツァルト・サロンでのコンサート、ありがとうございました。
- ♪ ショパンの人生を辿って、作品が書かれた順に演奏をするというこの企画、大変面白く、想像を巡らせながら聴かせていただきました。理恵子先生の解説も素敵で、普段 CD 等で聴いているワルツの何倍も新鮮で心にしみいつく Chopin の世界を堪能することが出来ました。素晴らしい時間を本当にありがとうございました。
- ♪ 私用があり、前半のプログラムしか聴けませんでした。残念！！ワルツ 7 番聴けなくて残念です。今回のショパンのプログラム、華やかでモーツァルト・サロンにぴったしの曲でした！
- ♪ すてきなショパンの演奏をありがとうございました。繊細な音が奏される姿を間近に拝見できて幸いでした。今後も伺えますことを楽しみにしています！
- ♪ ショパンのワルツ、ショパンの人生を追って弾いて頂き、人生の流れを感じながら素晴らしい演奏を聴けてありがとうございました。速いパッセージ、弾き分け、曲の立ち上がり、理恵子先生のオーラ、すごいです。「ショパン」又聴かせて。下さい。

モーツァルト・サロンへ

- ♪ モーツァルト・サロンでは、理恵子先生のリサイタル、佐藤卓史さんのリサイタル、弦楽奏のコンサートなど、充実した時間を過ごさせていただきました。閉はとても残念ですが、子供達と一緒に素敵な音楽を聴いた思い出はずっと消えません。本当にありがとうございました。 **(身に余るお言葉をありがとうございます。終わりが近づき、寂しさが込み上げてきています)**



ワルツ第 2 番

この曲を書いている頃、ショパンは非常に充実していて、第 2 の恋が始まります



ワルツ第 9 番後のトーク

少しの別れ、また会いましょう、という意味を込めて書かれた「別れのワルツ」でした



ワルツ第 4 番

猫のワルツと呼ばれています
根津さんの手が猫の手に見えます？



ワルツ第 19 番

偉大な作曲家の人生を追うというのは、
楽しくも重いものを感じました



アンコール:「タランテラ」

身体が勝手に踊りました



ささやかな場所での長い間のご出演
ありがとうございました
今後のご活躍をお祈り申し上げます

♪:~:~:~:♪♪:~:~:~:♪♪:~:~:~:♪:~:~:~:♪♪:~:~:~:♪♪:~:~:~:♪

第90回 モーツァルト・サロンコンサートシリーズ

佐藤卓史ピアノリサイタル チケット販売中!

~間近で聴く 若き巨匠が残したい作品の数々~

2024年12月22日(日)14:00開演 入場料 3,000円

モーツァルト:ロンド ニ長調 K.485

ロンド イ短調 K.511

シャミナード:森の精 Op.60

パ・ドウ・アンフォル(バレエ「カリロエ」より)

スペインのセレナーデ Op.150

佐藤卓史:舟歌(2001)

白河夜船(2005/2024)

ウクライナの歌「もしも刺繍ができたなら」による変奏曲(2024)

シューベルト:4つの即興曲 D935 Op.142

※当サロンコンサートは全て14:00開演です。

第91回 2025年2月23日(日) 東京混声合唱団のメンバー(8人)によるファイナルコンサート チケット販売中!

(BSテレビ朝日「子どもたちに残したい美しい日本の歌」出演中)

ピアノ:魚谷絵奈

入場料:3,000円

チケットのご購入 お電話またはホームページよりご予約の上、「一般社団法人国際育英文化協会」口座へ代金を先にお振込みください。入金確認後、チケットを郵送にてお送りいたします。また事務所で現金購入も承ります。

ゆうちょ銀行 ①ゆうちょ銀行からのお振込み 記号:10150 番号:70038231

②他の金融機関からのお振込み 店番018 普通預金 7003823

みずほ銀行 赤羽支店 普通預金 2093151

※クレジットカード決済をご希望の方は、Pass Market よりご購入いただけます。

詳しくは同封のチラシをご覧ください。

お知らせ

2010年9月23日にスタートいたしました「モーツァルト・サロンコンサートシリーズ」は

2025年2月23日のコンサートを以て、終了することになりました。

長い間、モーツァルト・サロンコンサートをご支援いただきました皆様には心より感謝いたします。

まだ2公演ございますので、是非ご来場を賜りますよう、お願い申し上げます。

モーツァルト・サロンピアノ教室 指定の月・火曜日

講師:青木沙耶花(月曜日)、魚谷絵奈(火曜日)

スタインウェイB(生徒さんが使用)、ヤマハC5でレッスンをするワンランク上の個人レッスン
コンチェルトや2台ピアノの曲も可能です。

音大卒の方の学び直し、ピアノの先生のスキルアップにも最適です

・月額制:10,000円~(30分~/年40回)

・1レッスン制:6,000円(60分)

お問い合わせ・お申込み:一般社団法人 国際育英文化協会

〒115-0045 東京都北区赤羽1-54-5 メトロAIビル 5F

TEL:03-5939-9535 FAX:03-5939-9536 (営業時間:平日9:00~17:00)

HP:<http://www.kokusai-ikuei.jp/> (右のQRコードを読み取ってください)

※この会報がご不要の方は、お電話またはホームページよりご連絡ください。

